



年頭のごあいさつ

岡谷市長 林 新一郎

新年あけましておめでとうございます。
市民のみなさんにおかれましては、すがすが清々しい新春を
健やかに迎えになられたこととお慶び申しあげま
す。

また、平素は、市政運営に対しまして格別のご理解
とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

昨年は、3月に商業と生涯学習活動の拠点施設とな
る「イルフプラザ」がグランドオープンしました。

企画段階から多くの市民のみなさんからご意見をお
聞きしながら築き上げたもので、「シヨツピングセン
ター」、「カルチャーセンター」、「こどものくに」から
なるこの施設には、人との出会いの場、ふれあいの場
としてそれぞれの機能が相乗効果を高めながら、中心
市街地活性化の中核施設として多くのみなさんにご利
用をいただいております。

また、9月には、福祉と生涯学習の機能を合わせも
つ「おかや総合福祉センター諏訪湖ハイツ」がオー
プンしました。

子どもから高齢者まで、障害者・健常者を問わず、様々な人が交流できる地域福祉の総合的拠点施設であり、岡谷温泉を利用した大浴場、温泉リハビリ施設や福祉風呂、足湯などには、うるおいとやすらぎを求め、オープン以来、多くのみなさんにご来場いただき喜ばれております。

合併につきましては、任意合併協議会で新市に向けての協議が進められ、8月末には新市建設計画案が取りまとめられました。

市民のみなさんには、合併懇談会や市報等を通じて内容をお知らせするとともに、11月には市民アンケートを実施し、多くのみなさんから賛成の意思表示をいただきました。

これを受けまして、次のステップである法定合併協議会設置に向け、関係自治体と協議を進めてまいりたいと考えております。

本年は、岡谷市の今後の方向性を決める大変重要な年であると考えております。将来都市像を「人と自然が共生する健康文化産業都市」とした、第3次岡谷市総合計画後期基本計画のスタートの年として、総合計画の6つの柱に示されている各種施策を計画的に進めるとともに、合併前に実施しておかねばならない事業をやり残すことなく、将来につながる住み良いまちづくりを推進していかなければなりません。

これからもみなさんとともに市民総参加のまちづくりを進めてまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

輝かしい新年の始まりにあたり、この一年のみなさんのご健勝とご多幸を心からお祈り申しあげ、年頭のあいさつとさせていただきます。